

令和7年度 第1回公設宮代福祉医療センター運営懇話会会議録

開催日時	令和7年6月30日（月）午後1時30分～午後3時30分	
開催場所	公設宮代福祉医療センター 3階会議室	
出席者	委員	木村由美子会長、今岡京子副会長、田口孝雄委員、村山ふさ江委員、鈴木健司委員、今村経夫委員、吉永吉正委員
	事務局	石井英利センター長、宮崎康之診療所長、秋山耕治参与、曾根一浩事務長代理、草野公浩健康介護課長、野口延寿保健センター所長、石井栄主幹
欠席者	関根美和委員	
傍聴者	なし	
配布資料	次第、運営懇話会資料	
会議録作成者	石井	

1. 開会（進行：野口所長）
2. 委嘱状交付
3. 公設宮代福祉医療センター長あいさつ
4. 運営懇話会会長、副会長の選出（木村委員を会長に、今岡委員を副会長に選出）
5. 議事（進行：木村会長）
 - 1) 令和6年度公設宮代福祉医療センター利用状況（6・5年度比較）

（事務局より説明）

－質疑応答－

委員 訪問看護利用者がゼロの理由は。

事務局 要望がない。県の統計上町内の他の事業所で充足している。

委員 利用者数というものをどう捉えるのか。利用者数が減っているのは、良いことなのかそれとも悪いことなのか。

事務局 良いとか悪いとかではなく計数的なことであり、収支に密接に関わってくる。

委員 月曜日から水曜日まで診療時間が延長されているが、利用者が増加し収益につながっているか。

事務局 受付時間を延長したからといって、利用者は増えていない。

委員 町からさらなる診療時間の延長の要望があるとのことだが。

事務局 住民からの要望はある。町内の医療機関の状況から判断しても需要はある。
 - 2) 令和6年度公設宮代福祉医療センター損益計算書（6・5年度比較）

（事務局より説明）

－質疑応答－

委員 障がい者雇用負担金とは。

事務局 障がい者法定雇用率を満たしていないための負担金です。

委 員 寄付金、宮代町補助金とは何か。

事務局 寄付金は前年度の利益に対して町に寄付するもので、補助金は宮代町からいただく交付金です。

委 員 予防接種等の収益が増えていることは、今後医療費を抑制するためにもいいこと。また、施設設備の更新については、予算も限られていることから調整が必要。

委 員 物価高騰の中で光熱費が減少したのはよかった。また、事業損益ではマイナス、事業外収支でプラスとなったため利益を得たのも努力の結果だと思う。

3) 令和6年度下半期公設宮代福祉医療センターの取組

(事務局より説明)

質疑なし

4) 令和7年度公設宮代福祉医療センター診療体制

(事務局より説明)

質疑なし

5) 公設宮代福祉医療センター運営に関する意見・要望等について

－質疑応答－

委 員 指定管理の更新は何年か。予算は。

事務局 今回は10年で今年度4年目。指定管理料としての予算はない。施設設備更新予算として全体で約8,000万円程度の予算が必要である。現在、町と振興協会で六花の機能と併せて協議をしている。

委 員 病院誘致は難しい。住民は必要であれば町外の病院を利用していて、宮代町に大病院は必要ないと思う。

委 員 六花の施設の現状を住民は知らない。また、病院誘致ではなく身近な医療機関を住民全体で支えていく意識が必要である。

事務局 町としては大病院も地域に根差した病院も必要だと思う。

委 員 施設運営は大変。六花は努力されていると思う。

6) その他

(事務局より説明)

6. 閉 会